

能登半島地震 要望項目(第一次=1月7日)

2024年1月7日

日本共産党石川県委員会 委員長 秋元邦宏
石川県議会議員 佐藤正幸

元日に起こった能登半島地震の被害は広範囲に及び、能登半島の先である奥能登では、半島の先という地理的条件を背景に、過疎化・高齢化が進み、行政職員も削減されてマンパワーが足りない中での災害となった。加えて、中山間地の土砂崩れなどによる道路の寸断が数多く発生し、被災地に必要な物資や人員が届きにくくなっている状況を踏まえた対応が求められる。被災地から寄せられている切実な声にもとづき、以下当面する要望を列挙する。

1) 非常に深刻な状況にある避難所の緊急の改善

- ・ 食事や水の確保、毛布や暖房の確保に引き続き全力をあげ、仮設トイレの設置を急ピッチで行うとともに、段ボールベットの設置もすすめていくこと。
- ・ インフルエンザ、新型コロナ感染などを防ぐためにも、衛生と健康の対応に万全を期すとともに、障害者や高齢者に対するきめ細やかな対応、ジェンダーに配慮した対応をすすめること。
- ・ これらを進めるうえでも、被災自治体への人的支援の抜本的強化など人的体制を至急確保すること。

2) 安心して住める住まいの確保

- ・ 金沢や南加賀も含めた県内全域の公営住宅の活用、ホテルや民間住宅の借り上げなど新型コロナ対策での宿泊療養施設の経験も生かし、緊急の住まいの確保をさらに急ピッチで行うこと。
- ・ 住宅の損壊が大規模におこり長期にわたる避難所生活が予想される中で、避難所生活が厳しい高齢者や乳幼児を持つ家族など、要配慮者の移動を速やかに行うこと。

3) 孤立地区の一刻も早い解消とともに、空からの輸送など緊急手段を使って物資を届けること。

4) 医療機関と介護施設に対する水・燃料をはじめとする緊急支援を強めること。

- ・ 医療費の自己負担免除を国の責任で早急に徹底するとともに、持病の薬を持たずに避難した方も多いたとも念頭に、避難所の往診体制の確保、その際にその場で薬が処方できるようにするなど、きめ細やかな医療的支援を行うこと。

5) ライフラインの復旧に全力をあげること

- ・ 停電・断水の解消へ全力をあげること。
- ・ 通信手段の確保のための、移動式の携帯基地局や電源確保を行うこと。
- ・ 道路の寸断カ所の応急対策を急ぎ、孤立地域の解消をはじめ交通アクセス改善を急ぐこと。

6) 志賀原発のトラブルに関する詳細な情報を公開すること

- ・ 地震が続いているもとで重大事故を起こさないよう北陸電力に強く要請するとともに、北陸電力は2号機の変圧器から漏れた絶縁油について、当初火災が起こったと報道されたが、それがいつの間にか訂正され、量についても当初公表していた約3500㍓ではなく、5倍を超える約1万9800㍓だったと発表した。なぜ訂正されたのかなど、不透明な部分が多く住民の不安が広がっていることに鑑み、北陸電力に対し、詳細な情報を公開するよう要請する。

以上